

声に出して読んだり、想ぞうしたことを書いたりして詩を楽しもう

春のうた

草野 心平くさの しんぺい 作

かえるは冬のあいだは土の中にいて
春になると地上に出てきます。
そのはじめての日のうた。

ステップ1 (とらえよう)

1 詩「春のうた」をくりかえし音読しましょう。



2 詩「春のうた」のかえるは、どんな気持ちで
このうたをうたつたのでしょうか。また、場
面のどんな様子が思いうかびますか。想ぞう
したこと書きましょう。

ほつ まぶしいな。
ほつ うれしいな。
みずは つるつる。
かぜは そよそよ。

「ほつ」というくり返しの言
葉は、やつと外に出たかえる
のわくわくした気持ちを表し
ていると感じたよ。



わたしは、詩「春のうた」を音読して、

ほつ いぬのふぐりがさいている。
ほつ おおきなくもがうごいてくる。

ケルン クック。
ケルン クック。

ステップ3（いかそう）

ステップ2（ふかめよう・まとめよう）

3

想ぞうしたかえるの気持ちや場面の様子
がつたわるように、工夫して音読しましょ
う。

音
読
の
工
夫
に
は、
声
の
大
き
さ
声
の
速
さ
声
の
調
子
など
が
あ
り
ま
し
た
ね。



★ 春の詩を読んだり、これまでに学習した詩
を読み返したりして、場面の様子や気持ちを
想ぞうしてみましょう。

作者名

だい名

はなが さいた
はなが さいた
はひふへ ほほほ
はなが さいて
みない ひと いない
はなが さいた
はなが さいた
ほへふひ ははは
はなが さいて
おこる ひと いない

まど みちお 作

二年（上）で学習した詩「はながさい
た」をえらんでもいいですよ！

はなが
さいた

